

米原歴史史街道

米原市の歴史・文化財を歩く

151

米原の弥生時代 その1

―米作りを始めたころ―

縄文から弥生へ

今年一月、杉沢遺跡(杉澤)で縄文時代終わりごろの埋葬施設「合せ口甕棺」一組を発掘しました。杉澤でかつて見つかった土器にはモミの痕跡が付いており、すでに縄文人がコメと出会っていたことが分かっています。同じころに、湖岸地域では大陸からもたらされた、稲を栽培し、収穫する技術による米作りが始まりました。今から約三三〇〇年前のことです。

守山市の服部遺跡で見つかった水田跡は、弥生時代前期初めごろのもので滋賀県で最も古いものといわれています。水田跡は一辺が一〇メートルにも満たない小区画のものが多数検出されました。弥生時代の前半は、村の共同体関係が成熟していないことから大規模水田や水路開削が難しく、さらに、田植えではなく直まきで、収穫も石包丁による穂積みだったことから、小区画水田の方が効率的だったと考えられます。

米原市で稲作農耕が行われた最も古い遺跡は立花遺跡(上多良・中多良)と入江内湖西野遺跡(磯)です。服部遺跡よりやや遅れて、弥生時代前期中ごろに営まれ

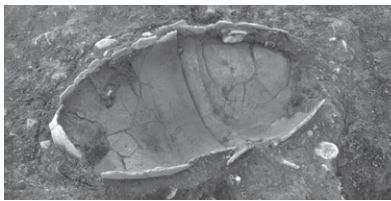
ました。ここからは、モミを貯蔵するつぼ

や、煮炊きにかめなど典型的な弥生土器が出土しました。立花遺跡はどのように出現したのでしょうか。実は、立花遺跡の約二〇メートル西に筑摩佃遺跡(朝妻筑摩)があります。縄文時代終わりごろに縄文人によつて営まれた集落で、ここに住む縄文人たちが稲作農業の技術を受け入れ、居住地を東側に少し移動して、周辺に水田を営んだと考えられています。

滋賀県では弥生時代が始まると、縄文時代と比較して遺跡数が増加傾向をたどります。米作りは土地を改変してその基盤を作りますが、その田んぼを守り続けることが大切です。さらに、家族をはじめとする村の人口が増えると、耕作に必要な土地を開墾する必要があります。親戚から新しい分村が生まれ、それぞれのつながりを保ちながら物や情報のネットワークを作っていました。実際に、弥生時代前期終わりごろには、天野川の北で五反田遺跡(宇賀野)・塚塚遺跡(顔戸)・法勝寺遺跡(高溝)などの農耕集落が営まれました。

初期の水田

これらの集落の水田は、天野川流域の低地にあり、排水が悪く常に水気が多い湿田に立地していました。湿田は酸素の供給が不十分で、稲の生育には悪く、農作業も困難です。米作りが始まったころの村がこのような低湿地に営まれたのは、この時期の遺跡から鉄製の農具がほとんど出土していないことに関連があります。鉄はすでに朝鮮半島から日本にもたらされていましたが、その量は限られ、おのや刀子(ナイフ)などの道具を製作する利器として使用されていませんでした。そのため春の耕作に使うクワやスキは鉄の刃先を付けない木製の農具だったことから、軟質の湿田が選ばれました。さらに、河川からかんがい用水を引くような大規模な工事もできませんでした。湿田は地下水水位が高く排水溝を設けるだけで営むことができます。耕作はしやすいが、高い生産量を望めない矛盾を抱えながら、米原の弥生人の米作りが始まりました。(歴史文化財保護課)



▲出土した合せ口甕棺(杉沢遺跡)



▲入江内湖遺跡出土の木製農具

消費生活相談コーナー

オンラインゲームで高額請求!

子どもがスマートフォンのオンラインゲームで有料アイテムを購入していたようで、クレジットカード会社から高額請求が届いた。

消費生活相談員より一言

未成年者取消しを求めることはできますが、保護者の管理責任を問われる可能性もあります。カード番号などの適切な管理はもちろん、子どものスマートフォンの利用状況も確認するようにしましょう。

「おかしいな」と思ったら
一人で悩まず、
まずは消費生活相談窓口へ
ご相談ください。

市 消費生活相談窓口(米原庁舎)

相談専用 ☎52-8088

〔受付〕平日9時30分~16時



【米原警察署情報】 問 米原警察署 ☎52-0110

新入学(園)児の交通事故を防止しましょう

運転者は「思いやり運転」を心掛けて
通学路やキッズゾーンなど、日頃子どもが通る経路は、できるだけ避けましょう。

また、横断歩道では歩行者が最優先です。歩行者がいる場合は、横断歩道手前で一時停止を。

飛び出し事故に注意!

急に飛び出さないよう、日頃から「止まる」「見る」「待つ」という言葉を子どもに伝えましょう。

車に乗るときは「シートベルト」「チャイルドシート」の着用を

交通事故から命を守るため、全席着用しましょう。



令和2年市内交通事故数(1月末時点)

件数 9件(-1件)、死者 0人(-1人)

傷者 11人(-3人)

※()内は前年比

